

連載

未来への扉⑩



図書館司書がお薦めする、子ども・子育て世代向けの本を紹介します。
問 豊栄図書館 (☎025-387-1123)



『おさるのまいにち』

作・絵：いとうひろし
出版社：講談社 発行年：1991年
市内図書館所蔵数：20冊

あらすじ

南の小さな島は、サルの楽園です。おさるたちの一日は、日の出とともに起き、まずオシッコ、そしてご飯。その後は一列に並んで毛繕い。それから木登りをしたり、水浴びをしたりして夜になったら眠ります。毎日毎日同じ暮らし。

そんなある日、水平線の向こうから世界中を旅するウミガメのおじいさんがやってきました。おじいさんの今回の旅の話は、おさるたちにとっては大変衝撃的なものでした。

おすすめポイント

南国のおさるたちの緩い日常を描いた幼年童話です。のんびり、ゆったり暮らすおさるの毎日は、読む人の凝りをほぐしてくれます。どうぞお子さんと楽しんでください。

いとうひろしの「おさる」シリーズは11巻。子どもは主人公のおさると南の島ライフを楽しみ、自然の不思議を考え、想像力を豊かにするでしょう。大人は主人公の内面の成長にハッとすることもかもしれません。緩いだけでなく、実は深い「おさる」シリーズです。

子育て応援通信 家族で遊ぼう16 同施設 (☎025-250-5207)

新潟市内の遊び場を紹介します。



寺山公園子育て交流施設 い〜てらす

開館時間：9時～18時 ※水曜、年末年始(交流ゾーンは年末年始のみ) 休館
入館料：無料
※一時預かりや一部のイベントは有料
場所：東区寺山(駐車場108台)

同施設は寺山公園に併設された子育て交流施設です。公園利用時の一休みや雨宿りなどで誰でも利用できる「交流ゾーン」と、小学3年生までの子どもとその保護者が利用できる「子育て支援ゾーン」に分かれています。「子育て支援ゾーン」には、おもちゃ絵本などがある「幼児ひろば」と大型遊具を備えた「低学年ひろば」があります。子どもや保護者向けのさまざまなイベントも開催しています。



▲同施設ホームページはこちら

オリジナルの遊具で遊んでください



同施設長 森山 穂南さん

ボルダリングや滑り台などが楽しめる大型遊具「おおちゃん」はオリジナルの遊具で、とても人気があります。また、お子さんの一時預かりを行っています。理由は問いませんので、まずは気軽に問い合わせてください。

令和6年能登半島地震関連情報 No.13

り災証明 支援制度を受けるために早めの申請を

り災証明の申請から支援制度の利用までは、一定の期間がかかります。また、支援制度にはそれぞれ申請期限があります。必要な支援を受けるため、早めの申請をお願いします。

生活再建のための主な支援制度

掲載情報は8月1日時点のものです。申請期限などの最新情報は新潟市ホームページを確認してください。
※このほかにも支援制度あり。支援制度の利用には、り災証明書が必要。各支援制度の問い合わせ先など詳しくは同ホームページに掲載



支援制度	対象 ※り災証明の判定	上限額 ※り災証明の判定により異なる	申請期限
被災者住宅 応急修理	準半壊以上	64.3万円～ 170.6万円	12月31日(火)
被災者生活 再建支援金	半壊以上	50万円～ 400万円	基礎支援金・市支援金 来年1月31日(金)
			加算支援金 令和9年1月31日(日)
液状化等被害 住宅建替・購入 支援	中規模半壊以上	50万円～ 150万円	建て替え 9月30日(月)
			購入 来年2月28日(金)
液状化等被害 住宅修繕支援	一部損壊以上	10万円～ 150万円	来年2月28日(金)

地域でプラス声かけ運動

各種支援制度に必要な「り災証明」をさまざまな理由でまだ申請できず、生活再建に向けて動き出せない人もいます。日頃の暮らし・地域活動の中で、近所や同じ地域で被災した人に「り災証明」を申請していない人がいないか、声掛けをお願いします。

例えば…

町内の集まりで一緒だった人へ「り災証明の申請は済ませた?」「り災証明の判定に応じた支援が利用できるそうだよ」と声を掛ける



液状化被災宅地等復旧支援事業 相談・申請窓口を開設

同地震による液状化で被害を受けた宅地の復旧や、住宅基礎の傾斜修復などの工事を支援する同事業についての相談・申請を受け付けています。

また、同事業の支援対象や支援内容をまとめた説明動画を新潟市ホームページに掲載しています。

窓口	開設時間
西区役所健康センター棟1階 市役所ふるまち庁舎5・6階 (旧大和新潟店跡地)	9時～17時 ※土・日曜、祝日も開設



窓口はこちら



制度概要はこちら

液状化被災宅地等復旧支援事業 専用ダイヤル

☎025-226-2710

時 8時半～17時半
※土・日曜、祝・休日を除く

小まめな水分補給を

問 消防局救急課 (☎025・288・3260)